

東北大学法科大学院学生用 ZOOM マニュアル

文責：得津晶（2020/04/03 版）

東北大学では、2020 年度前期の授業を当面、オンラインで実施することになりました。法科大学院では、ZOOM、Meet¹などの利用を考えています。ここでは、ZOOM の利用法について紹介したいと思います。

1. アカウントの作成

ZOOM とは Skype や LINE の様なコミュニケーション・アプリケーションです。まず、アプリケーションのダウンロードとアカウントを作成する必要があります。

PC の場合は ZOOM のサイト (<https://zoom.us/jp-jp/home.html>) で指示に従ってアカウントを作ってください。

そのほかスマートフォン用のアプリケーションのダウンロードはここに一覧があります (<https://zoom.us/download>)。しかし、授業を受けるにあたり、ノートパソコンでもデスクトップでも構わないのでパソコンの利用を推奨しています。デスクトップパソコンの場合、マイクとカメラがついていないことが多いと思います。その場合は、外付けのマイクとカメラを準備してください。

アカウントは有料アカウントもありますが、さしあたり今は**無料アカウントで構いません**。アカウントを作成するにはメールアドレスとパスワードの設定が必要になります。アカウントは**大学のメールアドレス** (ac.jp で終わるアドレス) **で作成**すると 4 月中は、無料会員であっても 40 分の時間制限がかからないという措置を実施してくれています。(授業を受講するだけであれば無料会員であっても不都合はありません。)

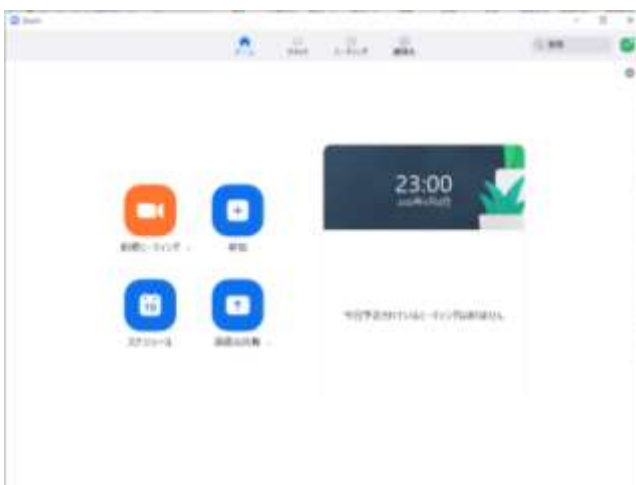
2. 授業のためのミーティングの設定

(教員が行います)

ZOOM で実際にオンラインで授業をする通話状態を ZOOM では「ミーティング」といいます。

主催者(授業の場合は教員)が「新規ミーティング」で作成し、時間等の設定を行い、参加する人(学生)を「招待」します。

招待は、電子メールで招待を送信するため、**受講生は教員**(正規授業の場合は事務)に**メールアドレスを伝える必要**があります。



¹ Google Hangouts Meet の利用法については東北大学オンライン授業マニュアル・学生用 (<https://sites.google.com/view/teleclass-tohoku/forstudents>) をご参照ください。

招待の電子メールには、ミーティングの時間等と一緒に、ミーティングにつながるリンク (URL) が表示されています。慣れないうちには接続・設定に一定の時間がかかることが予想されますので、授業開始の 10 分程度前には、リンクをクリックして、ミーティングに入っていただきます。

この作業は、教員が授業を行う場合を念頭に置いて書きました。しかし、これは、学生の皆さんがオンラインで**自主ゼミ・勉強会を行う場合も同じ手順**で可能です。

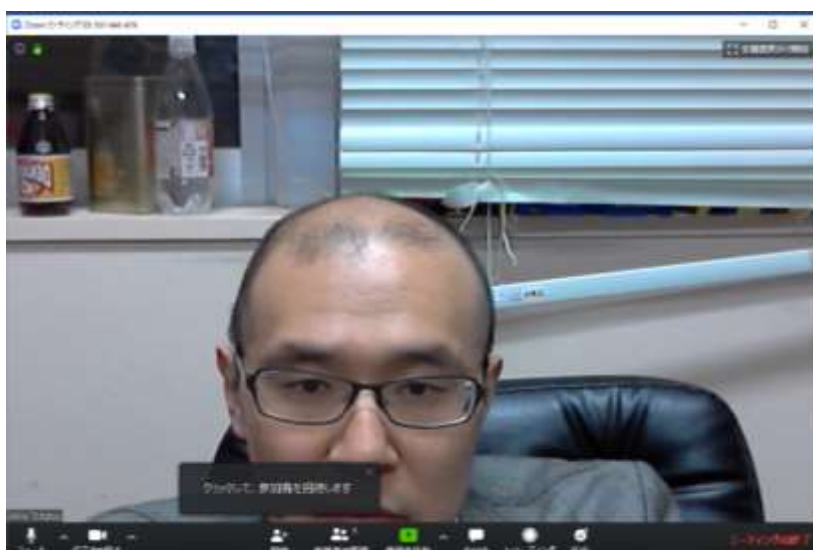
このときに、**主催者になる人が大学メールアドレス (ac.jp で終わるメールアドレス) で作成したアカウントでミーティングを主催すれば、4 月中は 40 分の時間制限なしにミーティングを開催できます。**

3. ミーティング中 (授業中)

招待されたリンクをクリックすると、主催者がすでにミーティングに入っていれば、「コンピューターでオーディオに参加」というポップアップとともに、(カメラがきちんとついていれば) テレビ電話が始まります。

主催者がまだミーティングに入っていないと「まだミーティングがはじまっていません」と出ます。

- 左下に「ミュート」と「ビデオの禁止」というのがあります。どちらもクリックしていないとテレビ電話 (動画も音声もつながっている状態) です。



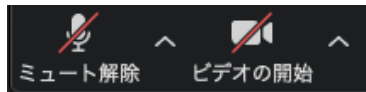
「授業」の場合は、「ミュート」をクリックしましょう。

独り言だったり、PC でキーボードをたたく音まで拾われてしまい、他の受講生に聞こえてしまいます。

双方向型授業では、教員に指名されたら、ミュートをクリックして解除し、発言しましょう。



マイク ON / カメラ ON の状態



マイク OFF (ミュート) / カメラ OFF の状態

- 下の真ん中の「**画面を共有**」(緑の箇所)をクリックすると、PCで開いているウィンドウのいずれかを選んで、**ミーティングの参加者全員で見る画像**を選ぶことができます。

授業によっては教員がパワーポイントやレジュメ(ワード、PDF)などを共有して、全受講生が共有した資料を見ながら受講することができます。

ミーティングによっては主催者しか「画面を共有」機能が使えないような設定になることもあります。特に授業ではそのような扱いがなされる可能性が高いです。

- 下の「**チャット**」というところをクリックすれば、**タイプ**(文字打ち)による**対話**ができます。授業中に**みんなの前で発言しづらい場合には、チャットを使って質問をすることができます**。教員がチャットを見る余裕がないこともありますし、授業の本題と関係なく授業を進めなくてはならない場合には、その質問を無視することもあります。しかし、「ほかの受講生も誤解に陥ってそうだな」と感じれば、教員にとっても助けになりますから、あなたの疑問を解決するだけでなく、授業の質を上げるためにも、チャットで質問してあげてください。

場合によっては、声を出せない場所でオンライン受講している受講生(自習室など)は、音声ではなく、チャットを利用して教員の質問に答えるという扱いがなされる可能性があります。

チャットはデフォルトで、「全員向け」になっています。恥ずかしい場合は、「教員」のみに向けてチャットすることができます。また、友人同士でチャットすることもできます。LSの双方向授業で、教員が指名した学生に対して他の学生が助け舟としてチャットでメッセージを送ることもできます。ただし、これは教員によっては不正行為と扱う可能性もあるので気を付けてください。

4. 通信量について

ZOOMをはじめ多くのオンライン授業システム(オンライン会議システム)は便利ですが**通信量が非常に大きい**です。(教員が試した感触として、1コマ1G程度になるのではないかとの話もあります。)

通信量に制限があるインターネット環境の場合、すぐに上限が来てしまいます。契約内容によっては多額の請求をされるおそれがあります。自宅に光通信のような通信量の制限のないインターネット環境が必要になります。

そのような環境にない受講生のために、現時点で



は、片平キャンパスのエクステンション棟のいくつかの教室を開放することを考えています。しかし、コロナウィルスの感染が仙台でも拡大しています。今後、**自習室を含めてエクステンション棟を閉鎖しなくてはならない可能性もありますので、通信料無制限のインターネット環境を準備してください。**

2020年4月3日に通信大手三社（NTTドコモ、au、ソフトバンク〔Yモバイル含む〕）が、25歳以下の学生に対して、通信量制限を緩和するという方針を発表してくれました。これによって、スマートフォンやモバイルwifiで月間の通信量制限がある場合も、この三社であり、25歳以下の方であれば、しばらくはスマートフォンのテザリングでも可能であると思います。ただし、授業の受講にはスマートフォンよりもノートパソコンないしデスクトップパソコンの方が望ましいのではないかと考えています。

また、今回、大手通信三社が通信量拡大に応じてくれたのは、オンライン授業を受講するためです。三社のユーザーの方はその社会的意味を考えて利用していただきたいです（これは東北大学法科大学院の立場ではなくあくまで得津の個人的意見です）。